

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	現在、面会も外出も制限される中であるが、馴染みの人との関係継続への取り組みとして、例えば、家族や関係者の協力を得て親戚、友人等に季節の挨拶状等を書くことを奨励する等、手紙、はがきでの交流も一考と考える。	コロナ禍でも家族と利用者が繋がること出来るようになる。	年3.4回の通信発行を継続し、家族に利用者の普段の様子が分かるメッセージを添えて送付していく。 手紙やはがきが書ける方には可能な限り、環境や準備を行う。また、ケアプラン等での家族へ連絡する際は本人の声を届けていく対応をしていく。	3カ月
2	45	毎日、湯を張り、週2回の入浴を実施しているが、ニーズ・オリエンテッドの観点から入浴回数を増やして対応する必要があるかも知れない。今後、対応可能性について検討に向けた取り組みに期待したい。	利用者本人の思いや希望に寄り添った入浴方法が改善できる。	体調(特に皮膚疾患)において必要とされる方、または希望される方に対しては1日2名と限定せずに人員を調整して対応していく。必要度に合わせて入浴回数の週二回以上の対応も配慮していく。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。